

# 中部 だより

中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きした、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。



## 東京・銀座発、信州ファンづくり ～「銀座NAGANO」が活況～

### 信州の首都圏総合活動拠点

長野県は2014年10月、首都圏における信州総合活動拠点「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」を国内外の高級ブランドショップが軒を並べる東京・銀座の中心部にオープンした。これは長野県が2013年から始めた「信州ブランド戦略」の一環として開設したもので、2015年3月の北陸新幹線金沢延伸、2027年のリニア中央新幹線開通を見据え、首都圏での情報発信機能を強化するとともに、コアな信州ファンを創造することを目的としている。



### 好調な来場者数、毎日のイベント開催、移住相談も！

開館後1年間の来場者総数は80万人を超えた(2015年10月末現在)。当初目標の35万人を大きく上回り、首都圏における長野県の存在感を高めている。



施設は1階がショップスペースで、県内の約300事業者から、およそ800種類の商品が並べられており、年間売上高は2億円を超える。また、入り口付近のバーカウンターでは、お酒を試飲できるコーナーもある。

2階にはオープンキッチンを備えたイベントスペースがあり、市町村や団体などが長野県産の野菜

や果物を使った料理教室をはじめ、信州の暮らし、自然、歴史、文化などをテーマにバラエティに富んだイベントを毎日開催している。これまで延べ460を超える市町村や団体によりイベントが開催された。



また4階には、コワーキングスペースと、移住交流・就職相談コーナーを設置している。地方創生の大きな柱の一つとして期待される移住・定住の相談件数は約1,500件となっている(2015年10月末現在)。

### 長野の魅力がさらに深まるために

都内に数多くあるアンテナショップの中で、銀座NAGANOは際立った成功事例と言える。活況の原動力となっているのは、来場者との双方向で継続的な関係を築くというコンセプトの下で、市町村や民間企業、団体等が一丸となって信州ブランドの磨き上げと発信を行っている点にある。さらには、一般消費者からファンを創造し、最終的には移住者を獲得するなど交流や人口の増加に繋げていくという、連続性のあるストーリーを描き、それを見事に館内で体現している事も他のアンテナショップにはない特色である。

中経連としても今後、昇龍道のPRなどに銀座NAGANOの活用や連携を検討するとともに、銀座NAGANOの活動が多くの信州ファンを生み出していくことに期待したい。

(長野担当 水田 晴久、高井 勇輔)

取材協力：銀座NAGANO